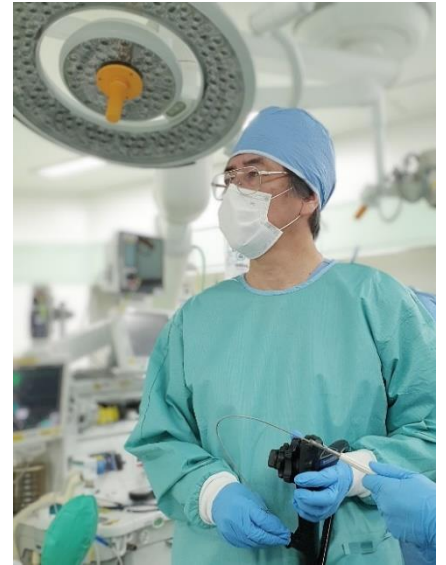




## 巻頭言

## 消化器センター センター長・教授 / 井上 <sup>いのうえ</sup> 晴洋 <sup>はるひろ</sup>

昭和大学江東豊洲病院は、開院（2014年3月24日）から満8年が無事に経過しました。病院業務を支えていただいているご関係の各位に御礼を申し上げます。以下に消化器センターの8年経過後の現況を報告いたします。開院時は25名の医師でスタートしましたが、現在は2倍以上の59名の医師で診療を提供しています。



### 「消化器センターは、内科と外科が一体となって診療をおこなっています！」

患者さんご自身が、内科、外科をお決めになる必要はなく、消化器の病気であれば、そのまま消化器センターの外来を受診いただけます。基本姿勢として、内科的な治療が可能なものは、できるだけ内科的治療を選択します。また、食道・胃などの上部消化器疾患、小腸・大腸などの下部消化器疾患、肝胆膵疾患とそれぞれの領域で内科、外科の専門医がおり、消化器疾患の幅広い分野をカバーしております。

### 「安全かつ効果的な低侵襲治療の開発と普及！」

消化器センターとして、内科・外科と一緒に診療をしていますので、低侵襲かつ効果的な治療法が提供可能です。その一例である食道アカラシアの治療は従来は外科手術が標準治療でしたが、現在では内視鏡での治療（手術）が可能です。この治療法をPOEMといいます。この治療法は2008年に昭和大学で世界に先駆けて開発されました。その後、先進医療を経て、現在では保険診療となっており、昭和大学のみでも2,700名を超える患者さんに施行しています。POEMは世界中に広まっており、アジアは言うに及ばず、米国、ヨーロッパからも患者さんが豊洲に見えます。

### 「最先端の内視鏡室と高度の治療内視鏡！」

内視鏡検査も、最新の世界標準の麻酔・鎮静薬を使用して施行し、患者さんからも高い評価を得ています。「今までが一番楽でした。」との好評を多数得ています。件数も、年間で約1万件をはるかに超えております。

### 「女性医師による大腸内視鏡検査や痔の診療」

女性の患者さんで、例えば、大腸内視鏡検査や肛門疾患（痔など）は、ご希望があれば、女性の医師が担当いたします。

### 「消化器以外の専門科との密な連携！」

わたしたち消化器センターが誇りにしておりますことの一つに、他科との連携があります。患者さんに良質の医療を提供するためには、消化器以外の疾患のケアも、消化器と並行して重要となります。たとえば、消化器の病気もあるけれども、心臓も悪いといった場合です。昭和大学江東豊洲病院は、総合病院であり、他の科に優秀な先生方やスタッフがたくさんおられます。他の診療科と、日ごろから密な連携をもたせていただいております。そのことにより、最高の消化器診療を提供できると考えております。



## 第103号のトピックス

- 巻頭言（消化器センター）
- ソーシャルワーカー職業紹介
- 当院研修医が学会で受賞しました
- DMAT 訓練に参加しました
- 編集後記

# Pick up

## ソーシャルワーカー職業紹介



ソーシャルワーカー / ほこまる 俊一 しゅんいち

ソーシャルワーカーは総合サポートセンターに2名配属され、5名の退院調整看護師と一緒に主に入院された患者さん・ご家族の「退院支援」を担っています。「退院支援」という言葉を耳にされるのは初めての方も多いと思います。病気やケガの影響で、すぐには入院前の生活へ戻ることが難しい方への支援をしていくことを指します。

具体的には、患者さん・ご家族の自宅での生活・お仕事・学業などへ戻る前のリハビリテーションを行う、痰の吸引・点滴などの医療的ケアを長期的に行うなどのニーズに対処する、回復期リハビリテーション病院・地域包括ケア病棟・医療療養型病院転院先の打診・選定の相談と調整を行います。ご自宅にて、医師・看護師・ヘルパー（介護）の訪問を受けながら、療養生活を継続される場合は、地域包括支援センター・ケアマネジャーと協働して、ご自宅にて訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションなどの医療と訪問介護・通所介護・児童発達支援事業などの福祉のサービスを受けることができるように支援チームを形成していきます。

医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などは医療の専門職ですが、社会福祉士・精神保健福祉士2つの国家資格を有する社会福祉の専門職です。

ソーシャルワーカーは、「退院支援」の過程において、生活に困っている方、病気になったときに頼れる人がいない方であっても、安心して適切な医療を受け、療養生活を過ごす権利を保障するための支援を行っています。医療費・生活費などの**経済的課題**、ご家族・ご親族が不在・ご事情があって家族の機能が難しい場合の**身元保証の課題**、認知症・病気・出産へ向き合うのが辛い・大変・生きづらさを感じるなどの**精神的課題**、8050問題・不登校・虐待・DVなどの**社会的課題への相談と解決へ向けて**、社会福祉制度の利用、福祉事務所・地域包括支援センター・保健相談所・こども家庭支援センター・児童相談所との連絡調整を担っています。

お手伝いさせていただく過程の中で、面接を通して、生活環境・ご心境・思い描く暮らし方・ご希望・問題解決方法を聴かせていただき、一緒に考えさせていただきます。

個人情報・ご事情・お気持ちを教えていただくことの責任を感じて、少しでもご本人・ご家族が安全安心に思い描く生活を構築されるように、微力ながらお手伝いができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



## 当院研修医が学会で受賞しました

たていしあや

立石彩研修医（2年次）が、日本循環器学会（The Japanese Circulation Society）の関東甲信越地方会で Resident Award 最優秀賞を受賞しました。

同学会は、循環器病学の研究、診療、人材育成などの多くの領域において数多くの輝かしい成果を上げ、素晴らしい伝統をもつ学会といえます。

立石研修医は、「レジオネラ肺炎治療中に心原性ショックとなった劇症型心筋炎の1例」の演題が高く評価され、同賞に選定されました。



立石 彩 研修医

### 【受賞コメント】

私にとって初めての学会参加であり、文献の収集方法からスライド作成の仕方まで分からないことだらけからのスタートでしたが、先生方の手厚いご指導の下、予演を重ね十分な準備を行いました。本番は落ち着いて発表に臨むことができ、Resident Award 最優秀賞を授与していただきました。臨床研修医として、このような貴重な成長の機会をいただくことができ、大変嬉しく思います。今回の学会参加で得た知識や経験を活かし、今後もより一層精進していく所存です。

ご指導してくださった相澤先生、佐藤先生をはじめ循環器内科の諸先生方、支えてくれた同期や後輩に、この場をお借りして改めて心より感謝申し上げます。

おにざわかほ

鬼沢香帆研修医（2年次）が、日本循環器学会（The Japanese Circulation Society）の関東甲信越地方会で Resident Award Finalist を受賞しました。

同学会は、循環器病学の研究、診療、人材育成などの多くの領域において数多くの輝かしい成果を上げ、素晴らしい伝統をもつ学会といえます。

鬼沢研修医は、「心原性ショックにイバブラジンが有効であった抗がん剤治療関連心筋障害の一例」の演題が高く評価され、同賞に選定されました。



鬼沢 香帆 研修医

### 【受賞コメント】

今回の発表に関連して急性心不全や抗がん剤治療関連心筋障害について学習を深めることができ、今後の診療への糧とすることができました。また、現地開催であったため、学会会場での様々な先生方の講演から学べることも非常に多く、貴重な経験となりました。残念ながら優秀賞の受賞には至りませんでした。Finalist として表彰していただき、発表する機会をいただけたことを非常にありがたく感じております。研修医期間も残り半年ほどであるため、ひとつひとつの学びの機会を大切に、より多くの事を得られるように過ごしていきたいと考えております。

学会参加に関してご指導いただきました、江東豊洲病院循環器センター循環器内科の先生方に厚く御礼申し上げます。

## 創立記念日休診のお知らせ

2022年11月15日（火）は、昭和大学創立記念日のため休診となります。  
あらかじめご了承ください。



## Report

### 10月1日にDMAT訓練に参加しました

厚生労働省主催による、南海トラフ地震を想定した大規模地震時医療活動訓練が10月1日（土）に実施され、当院のDMATチームも参加しました。必要な資器材を病院救急車に積み込み、参集拠点本部の東名高速道路足柄SAから、西部医療圏活動拠点本部（浜松医科大学附属病院内）に到着後、そこから更に佐鳴湖病院への病院支援に向かいました。同院では、指揮所の立ち上げ、負傷患者のトリアージなどを行い、有事対応に即した緊張感溢れる訓練を経験することができました。

地域における災害拠点病院としての責務を改めて自覚することができ、これからも日々精進していきたいと思っています。（高田技術員）



左側から高田技術員、倉富看護師、森田准教授（泌尿器科）、佐藤講師（整形外科）

## 編集後記

この病院だよりが発行される頃には秋も深まりを見せている事と思います。この季節になると、コロナ禍以前によく訪れた箱根の芦ノ湖から御殿場に向かう途中にある仙石原のススキ草原を思い出します。広大な土地にススキの草原が広がり、まるで黄金の絨毯のようで映画の中に入り込んだ錯覚を受けました。この一帯はかつては樹木が生えない草原で、開墾できれば千石の穀物（仙石原命名の由来の一説）が得られるだろうと地元の住人は期待しましたが、土壌が火山灰のうえ湿地で思うように収穫はできなかったそうです。そのため茅葺き屋根用のススキを栽培するようになったそうです。現在ではこのススキの草原を守るため、春に野焼きが行われ雑木の増殖を防いでいるそうです。あのすばらしい景観を保つための関係者方々には頭が下がります。今後、再び自由に仙石原の風景の中を散策できるようコロナ禍の終息を願っています。

放射線技術部 もりや かつゆき  
守屋 克之



昭和大学  
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院  
Facebook ページ

Showa University Koto Toyosu Hospital